

最新版！

立川市内のごみ排出状況レポート

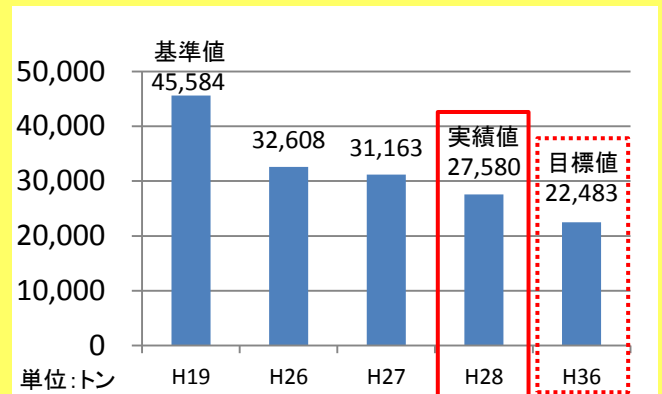
私たちがお伝えします

市では、平成19年度の燃やせるごみ排出量を基準として「燃やせるごみ**50%減量**」を達成するため、ごみの減量に取り組んでいます。
このたび、**平成28年度のごみ排出量**が確定しましたので、お知らせします。



平成28年度の燃やせるごみ排出量は27,580トン。
前年度比約11%減、基準値からみると約40%減まで到達しています。あと約10%(約5,000トン)で目標を達成します。〔グラフ1参照〕

グラフ1 立川市の燃やせるごみ排出量



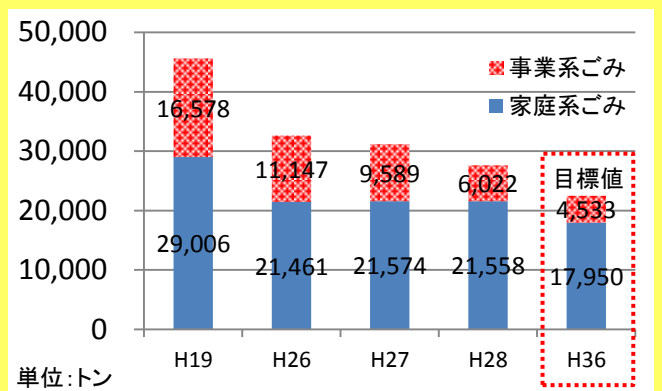
ごみ量がすごく減ってる！
目標達成まであと少しですね♪

油断は大敵ですよ！
ごみの内訳を見てみましょう。



市内で出る燃やせるごみは、家庭から出るもの（家庭系ごみ）と事業所から出るもの（事業系ごみ）に分かれています。ごみ量の内訳をみると、事業系ごみ量は減少傾向にあり、**家庭のごみ量は横ばい**となっています。〔グラフ2参照〕

グラフ2 燃やせるごみの家庭系ごみと事業系ごみの内訳



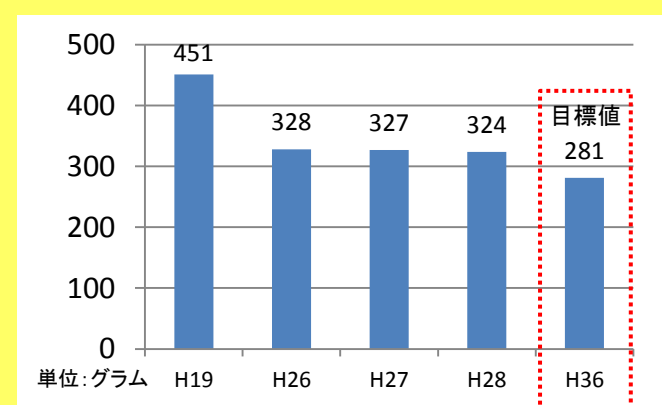
横ばいかー、家庭系ごみを減らすのは難しいのかなあ...

そのとおりなのですが、また違う視点で見てみましょう。



家庭から出る燃やせるごみの総量は横ばい傾向ではありますが、市内の人口は微増していますので、一人あたりのごみ排出量（原単位：g/1日）で見ると、**少しずつ減少**していることがわかります。〔グラフ3参照〕

グラフ3 市民一人あたり燃やせるごみ排出量〔家庭ごみ〕



これもおみ減量に取り組む市民の**皆さんの日々の努力・工夫のおかげです**。誠にありがとうございます。

日々の積み重ねが、燃やせるごみ減量につながりますので、引き続きごみ減量の取組にご協力ください。



ご協力ありがとうございます！
今後ともよろしくお願いいたします！

次は、3Rに関する市の取組について紹介します

10月の「3R推進月間」に向けた特別企画

立川市が取り組む「3R」事例紹介

毎年10月は、循環型社会の形成に向けた取組をより一層推進する「リデュース・リユース・リサイクル推進月間」(通称:3R推進月間)です。それに関連した立川市の取組をご紹介します。



環境省のポスター

Reduce

燃やせるごみ50%減量に向けた各取組

○全市一斉マイバッグ運動～みんなで使おうマイバッグ！～

毎年10月に全市一斉マイバッグ運動を実施しています。期間中は「みんなで使おうマイバッグ」を合言葉に、普段からマイバッグを持参し、不要なレジ袋はもらわない、過剰包装は断るよう心がけましょう。

日本国内では、1年間におよそ300億枚以上のレジ袋が使用されています。みなさんの日常の行動が、ごみ減量に直接つながります。1枚でも多くのレジ袋を減らすため、マイバッグ運動にぜひご参加ください。



マイバッグ運動ポスター



マイバッグ運動協力店の「三上鯉節店」(曙町) 毎年約90店舗ほどのお店にご協力いただいています。詳しくは市ホームページで。

○食べ残しゼロにご協力を！「立川市食べきり協力店」

市では、市内で発生する食品ロス※を削減するため、市内飲食店にご協力いただき、小盛りメニューの導入や、料理をシェアできる等、食品ロス削減の取組を率先して実施しているお店を「立川市食べきり協力店」として登録し、食品ロス削減の啓発を進めています。

現在市内約40店舗が登録していて、市ホームページでは各店舗の取組やマップを紹介しています。食べきり協力店を積極的にご利用いただくとともに、候補店がありましたらぜひ情報提供ください。

※食品ロスとは、食べ残しなどまだ食べられるのに捨てられるものの総称。日本国内では年間600万トン以上の食品ロスが発生している。



市内で出た食品ロスの一部



高松町3丁目「ニジジカフェ」ハニートースト。シェアもできます。



西砂町6丁目「やきとり三原」串焼き。持ち帰りもできます

【ミニコラム】そもそも3R(スリーアール)ってなあに？

ごみを減らすために心がける3つのR(アール)を改めて解説します。立川市では特にリデュース(発生抑制)とリユース(再利用)に重点的に取り組むこととしています。

① Reduce(リデュース)



発生抑制。無駄なごみの量をできるだけ少なくすること。

② Reuse(リユース)



再利用。一度使ったものをごみにせず、何度も使うこと。

③ Recycle(リサイクル)



再生利用。使い終わったものを再度資源に戻して製品をつくること。

立川市内でごみとして出された家具類や衣類、日用品等の中で、まだ使えるものを修理して格安で販売する「リサイクルショップ西砂」を紹介します。

リサイクルショップ西砂では、タンスや収納家具、ダイニングセット等の大型家具から、衣類、食器等の日用雑貨まで、さまざまなものを**新品の約2割～3割程度の価格**で販売しています。**格安で良質な商品**が手に入りますので、ぜひご利用ください。

家具



4人用ダイニングセット。
なんと6,000円！



風合いのある物入れ。
部屋のアクセントに

衣類等



普段着から和服まで
豊富な品ぞろえの衣類



かばんもあります。
掘り出し物があるかも

子ども関連



学習机は7,000円。
入学時期にどうぞ



木製ベビーベッド。
2,500円とお買い得

日用雑貨



食器は1セットで
100円から



書籍は1冊50円で
販売しています



販売担当の中野さん

「配達サービス（有料）も
ありますので、お気軽に
ご相談ください」

お待ちしております！



熊の置物(700円)

【営業時間】

火曜日～日曜日(月曜定休)
10時～16時 Tel.042-569-3666

【アクセス】

立川市西砂町4-77-1
立川市総合リサイクルセンター内
プラザ棟1階



【Pick up!】ごみを商品に変える職人・立川市シルバー人材センターの会員さんたち

ごみとして出された家具や衣類は、人の手によって丁寧にメンテナンスされた後、店頭に並びます。作業担当スタッフである立川市シルバー人材センターの皆さんとその仕事を紹介します。

家具



40年以上家具職人を
していた魚山さん



家具の壊れた部分を
丁寧に修理します



心を込めてソファを
きれいに磨きます

私たちが思いを込めて
直したものを受け継いで、
大切に使ってください！

衣類



収集された衣類の中から
きれいなものを選別



汚れ等を丁寧に処理



値札付けの作業。
大半が100円～500円



左から、家具担当の根本さん、
佐藤さん、魚山さん、
衣類担当の田村さん、大島さん

市内から集められた「せん定枝」と、食べ残しなどの生ごみを混ぜ合わせて作られた「たい肥の素」に生ごみを投入すると、バクテリアの働きで**生ごみが分解・消失します**。この仕組みを利用して、ご家庭のベランダ等で気軽に生ごみ減量に取り組めるよう、市がたい肥の素を市民の皆様**無償で配布**しています。気軽に始められる生ごみダイエット「ベランダたい肥づくり」にチャレンジしましょう！

【ベランダたい肥づくり・基本の流れ】



①たい肥の素をセット



②生ごみを投入



③適宜混ぜ合わせる



④数日で生ごみ消失

【ベランダたい肥づくりのポイント】

- ①**生ごみの入れ過ぎ**に注意。羽虫発生の原因になります
- ②適度な湿度を保ちましょう。**雨水の侵入は厳禁！**
- ③ベランダたい肥づくりに**向かない生ごみ**もあります
(骨類、貝殻、タネなど、人が噛めない堅さのもの)
- ④**3月から10月頃**までは生ごみがよく分解されます
(11月から2月にかけての「休眠期」はあまり分解されない)



【もっと詳しく知りたい方】

ポイントをわかりやすく解説した手引きを無償配布しています。(ホームページでもダウンロード可)



【実践者インタビュー】

ベランダたい肥づくりに取り組む方は少しずつ増えています。実践者の声を紹介します！



りきの
若葉町・力野さん
(たい肥づくり歴3年)

ベランダたい肥づくりを始めてから、生ごみを捨てることがほとんどなくなり、燃やせるごみの袋も1サイズ小さくなりました。面倒な作業はほとんどないため、気軽に続けられています。



こだま
富士見町・樹神さん
(たい肥づくり歴2ヶ月)

子どもの夏休みの自由研究として始めました。同じ生ごみでも入れているものと悪いものを分ける手間はありますが、工夫しながら親子で楽しく取り組んでいます。



作ったたい肥は家庭菜園に利用しています。



小松菜、ニラ、パプリカ等、すべて無農薬で育てます



外にこぼれないよう、手袋をして手でかき混ぜています



虫の発生予防に、寒冷紗で覆っています。

お問合せ・お申込みは、ごみ減量推進係(Tel042-523-2111・内線6757)へ

たい肥の素と衣装ケース(必要な方のみ)を自宅までお届けします。